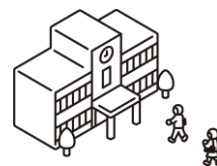




# 寒川町立小・中学校適正化通信

～子どもたちにとって望ましい教育環境をめざして～

## 学校の再配置候補(案)について



▷ 寒川町では、児童・生徒の減少による学校の小規模化への対応や、公共施設再編を機に時代にふさわしい教育環境の整備が求められていることから、学校等の適正化等について検討を進めています。

▷ これまで、通信（第1～2号）をはじめ広報紙や地域懇談会において検討内容についてみなさまと共有してきましたが、第3号においては、基本方針を踏まえた学校の再配置候補(案)の検討内容や検討経過についてお知らせします。



詳しくはこちら  
町ホームページへ

## 小・中学校を現在の8校から6校へ再編(再配置)

基本方針にて示された項目に基づき学校の再配置パターンについて検討を進め、現在以下の4パターンにまで絞り込んできました。

Aパターン	Bパターン	Cパターン	Dパターン
寒川小学校 一之宮小学校 旭小学校 小谷小学校	寒川小学校 旭小学校 小谷小学校 南小学校	寒川小学校 一之宮小学校 旭小学校 小谷小学校	寒川小学校 旭小学校 小谷小学校 南小学校
寒川中学校 旭が丘中学校	寒川中学校 旭が丘中学校	旭が丘中学校 寒川東中学校	旭が丘中学校 寒川東中学校

次ページからは、再配置(案)に至った経過について記載しています。⇒

# 検討方法について

## 基本方針における検討要件

- ▷ 子どもたちの望ましい教育環境を整えること。
  - 児童生徒の居住分布や通学条件に配慮した配置バランスと通学距離が確保できること。
  - 学校が小規模化しないよう一定規模の児童生徒数を確保すること。
- ▷ 「寒川町公共施設再編計画」を踏まえて検討を行うこと。
  - 財政面を考慮すると、新たな用地取得は難しいため、既存の学校の位置を基本とすること。



## 学校再配置候補(案)の考え方(第1段階)

- ▷ 小学校4校、中学校2校の配置とした場合の候補は**全15パターン**  
【小学校5パターン × 中学校3パターン = 15パターン】
- ▷ さらに、次の3つの視点により全てをクリアする**4パターン**に絞り込みました。

### 配置バランス

- ▷ 小学校：南部・中部・北部にバランスよく配置されているか。
- ▷ 中学校：南部・北部にバランスよく配置されているか。

### 通学距離

- ▷ 小学校：通学距離が全域おおむね2 km以内となっているか。
- ▷ 中学校：通学距離が全域おおむね3 km以内となっているか。

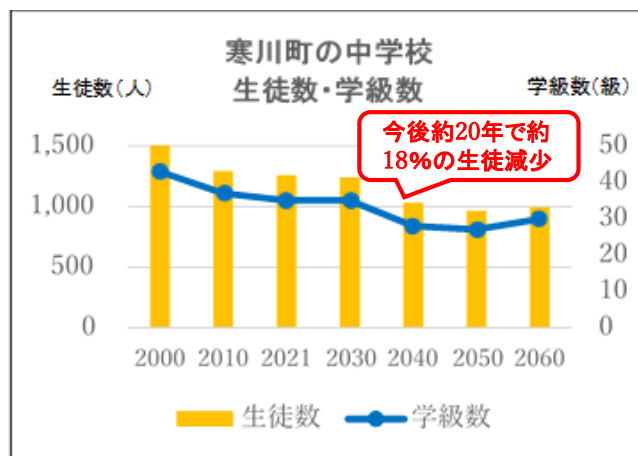
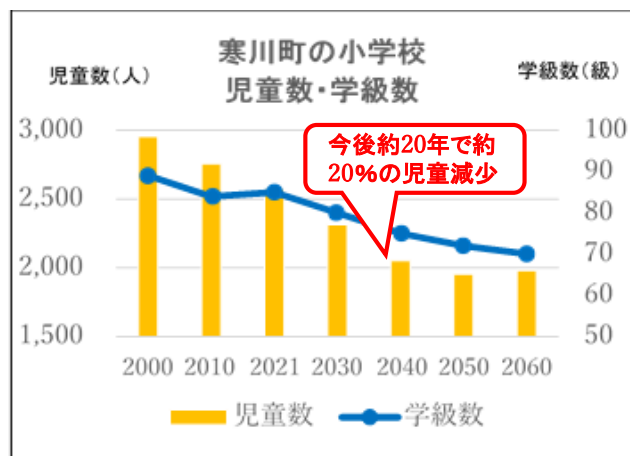
### 学校規模

- ▷ 小・中学校：適正な学校規模となるか。  
(一定の児童生徒数が確保できるか。)



検討比較表(第1段階)  
についてはこちら

## 生徒児童数の推移



## 検討比較（第2段階）

第1段階で絞り込んだ4つの再配置地候補パターンについて、さらに以下の詳細な項目によって最適なパターンの絞り込みの検討を行っています。



### 学校規模

- ▷ 小学校 2学級以上が確保できるか
- ▷ 中学校 3学級以上が確保できるか
- ▷ 大規模校が発生しないか

### 通学条件

- ▷ 適切な通学距離が設定できるか
- ▷ 各学区における主要地点から学校までの距離
- ▷ 通学の安全性が確保できるか

### 学校と地域の連携

- ▷ 自治会からの協力や連携のしやすさ
- ▷ 「地域とともにある学校」としての利便性は確保できるか

### 施設の機能

- ▷ 十分な敷地・建物要件を確保できるか
- ▷ 教育方法等の多様化への課題はあるか
- ▷ 複合化の可能性はあるか ▷ 施設の使用目標年数を超過する時期と修繕、更新（建替え）時期のタイミングは適切か

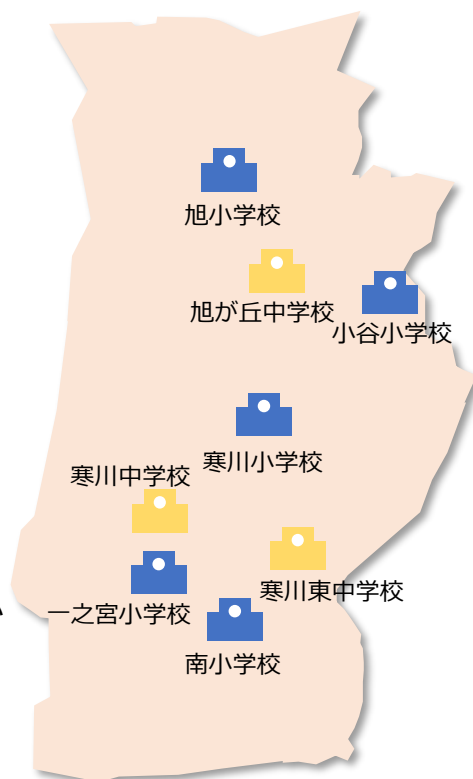
### 整備経費

- ▷ 配置する全学校の更新（建替え）完了までにかかる費用
- ▷ 公民連携の可能性 ▷ 跡地利用の可能性

### 新しい学校のかたち

- ▷ 小・中一貫教育導入の有効性 ▷ コミュニティ・スクール
- ▷ 少人数教育

### 現在の小・中学校の配置



検討比較表（第2段階）  
こちらの第11回検討委員会  
ページからご覧ください。

# 今後の予定と皆さんからいただいた声

## 新しい学校ができるまで

今ここ

- 教育の在り方や学校配置等の方針決め
- 町全体の公共施設適正配置の方針決め



- 各学校のコンセプトや施設内容等を検討
- 校舎の改修・建て替えスケジュール決め



- 学校の改修・建て替え工事
- 新たな学校の完成・開校



## 皆さんからいただいた声

▷ 今後の学校の形態を見通していくには学級数だけでなく、教室の広さ、児童の人数はもとより、どのような教育形態が一人ひとりに最適かを考えて、学校をどのような場としていくかを論議していく必要があると考えます。

▷ 教育を受ける子どもたちも教育をする立場の教職員の方も両方に良い環境づくりに取り組んでいただけたらと思います。そのことに町全体が理解、協力していただけるような環境になれば子どもたちは安心して教育を受けられると思います。



より良い教育環境をつかっていくため、今後も懇談会やパブリックコメントなどでご意見をいただきながら、将来の具体的な学校像を皆さんと一緒に作っていきます。よろしくお願いします。

